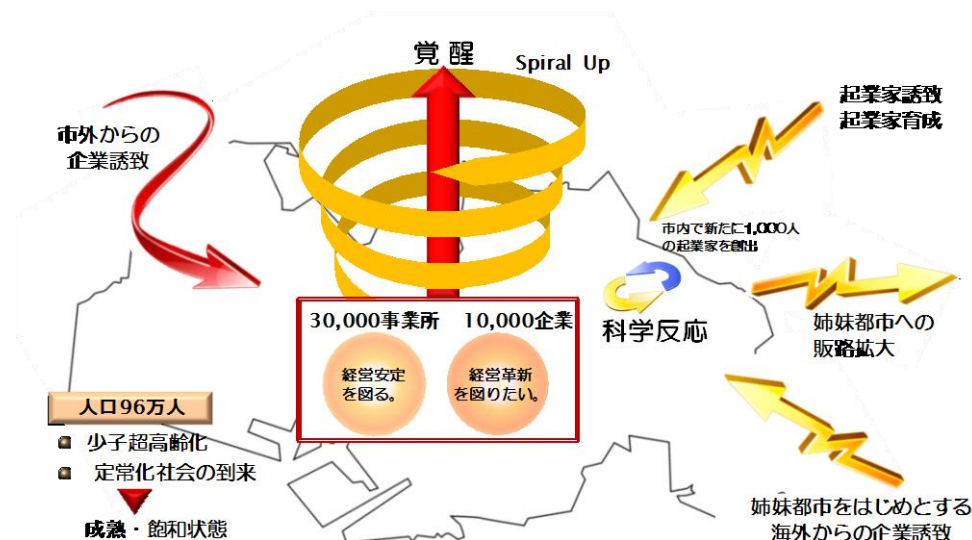


4 基本戦略

(1) 基本戦略の考え方

～経済環境の変化に柔軟に対応できる産業界の企画力とチャレンジ精神を支援～

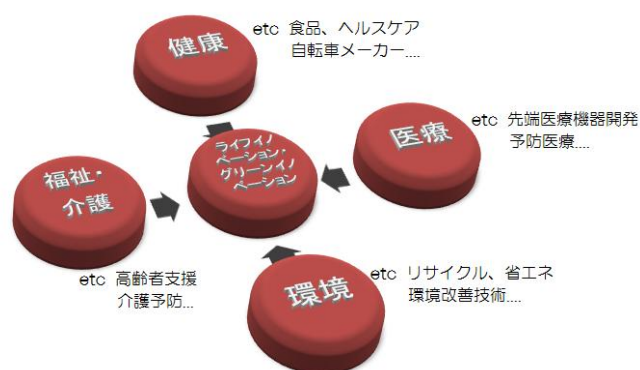
本戦略の狙いである、企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ千葉市を目指し、世界同時不況から引き続く長期の景気低迷の中、先の見えない経営環境や今後直面する定常型社会※における価値観の変化、世界的な経済の枠組みの変化といった、企業を取り巻く経済環境の変化に柔軟に対応できる企画力とチャレンジ精神を育て、住みやすい社会の創造に貢献する産業を育成します。



(2) 3つの基本戦略

本市の経済活性化のための「基本戦略の考え方」に基づき、「新事業・新産業の創出」「経営革新と産業人材の育成」「地域商業・サービス産業の振興」を柱とした 3 つの戦略を設定し、千葉市経済の活性化を目指します。

このため、個別の事業については、千葉市の偏りのない産業構造という特徴を活かし、国の新成長戦略の方向性や市内における新事業創出の取り組み状況を勘案した幅広い事業者が参入できる可能性のある、健康支援・予防医療などのヘルスケア産業を中心とするライフ・イノベーション※分野やグリーン・イノベーション※分野を意識し、展開していきます。



戦略Ⅰ 新事業・新産業の創出

定常型社会※における価値観の変化や、先の読めない国内外の経済情勢など厳しい経営環境が続くなか、変化に柔軟に対応し、自らの強みを活かした持続可能な経営を目指す事業者の新事業・新産業への取組みを支援するとともに、市内事業所数増加による産業基盤の拡大を目指すため、幅広い業種での創業支援を実施しつつも、本市が持つ独自の姉妹・友好都市間の国際ネットワークを活用し、海外進出のリスクを軽減することにより、企業の海外進出を円滑に行える環境を整え、国際的な競争力の強化を図ります。

戦略Ⅰ－１ 起業家育成、新事業の創出

千葉市産業界に新たな活力を導入し、その可能性を生み育てるとともに、市内大企業・大学などの研究機関・NPO などとの新たなネットワークの構築により、既存産業の新たな事業分野へのチャレンジや新たに事業を始めようとする起業家・ベンチャー企業を支援します。特に、産業のプラットフォーム化が求められているため、新事業創出の重点分野である「環境」「IT※」「医療・福祉」「新製造技術※」を基本とする、成長分野を意識した施策を推進します。また、将来の科学者・技術者など産業基盤を支える人材の輩出や新たな産業の創出に向けた取組みを進めます。これらの取組みにより、創業地としての千葉市の魅力を向上させます。

○市内の産業支援機関との連携強化

新規創業やベンチャー企業の育成、新事業の創出に必要な支援をより効率的、効果的に行うため、市内の産業支援機関との連携を強化します。特に、大企業・大学等の研究機関、NPO や銀行などと新たなネットワークの構築を目指します。

○創業セミナーの開催

起業家や新分野への進出を考える企業に対して、創業期の経営支援や資金繰りに関するセミナーを開催します。

○インキュベート施設※の機能拡充

新事業創出のペースアップを図るため、インキュベート施設※を拡充します。また、インキュベーションマネージャー※による支援を強化しハード、ソフト両面から支援の充実を図ります。特に、県内他インキュベート施設※との連携による最新の情報の共有化など支援体制を強化します。

○若手起業家への創業支援の強化

学生や若手クリエイターといった若者の活力を取り入れるため、大学・専門学校などと新たなネットワークを構築するとともに、インキュベート施設※での若者を対象とした支援を強化します。

○起業支援ネットワークの構築

行政、民間、市民が一体となった、千葉市発の有志による人的ネットワーク「社長1000人創出プロジェクト」を構築し、千葉市産業振興財団を基軸に、様々な起業支援プロジェクトの企画、実行、支援を行います。

○優秀なビジネスプランの誘引

新たな産業の将来性のある企業を創出するため、市内有力企業、金融機関等産業界と連携し、ベンチャーカップ CHIBA に新たな部門を設けます。また、市域にとられない多くの参加を期待することから、その周知に力を入れるとともに、受賞した企業の販路開拓などフォローアップを強化し、首都圏におけるビジネスコンペのステイタスの向上を図ります。

○新事業創出に向けた資金調達支援

資金面で不安定なベンチャー企業の創業期を支えるため、ベンチャーキャピタル※やエンジェル投資家※とのマッチングを図ります。また、新規創業を支援するチャレンジ資金や産学連携※・知的財産※の活用を促すトライアル支援資金などの公的制度融資により資金調達の支援を行います。

○有望なベンチャー企業の販路開拓支援

千葉市ビジネス支援センター※、千葉大亥鼻イノベーションプラザ※などに入居するベンチャー企業において、評価の高い製品開発を行い将来の事業活動が有望な者に対して、販路拡大等に特化した支援を行います。

戦略 I - 2 企業誘致と国際競争力の強化

市内企業の国際化を進めるため、日本貿易振興機構（JETRO）など関係機関と連携して、国外への企業進出・販路拡大などの経営判断を迅速に行えるよう、環境づくりを推進します。本市が持つ独自の姉妹・友好都市間の国際ネットワークを活用し、海外への市場拡大にかかる必要な情報の収集・提供を行い、海外進出のメリット、デメリットを的確に判断できるようにするとともに、海外進出のリスクを軽減することにより、企業の海外進出を円滑に行える環境を整え、国際的な競争力の強化を図ります。

また、市内の産業集積を強化するため、既存の工業団地の特色を活かすとともに、将来の産業用地のニーズに備え、新たな産業集積地区のあり方を検討するとともに、立地を誘導するための補助制度等の効果的な仕組みを構築します。特に、今後のニーズの拡大による成長が見込まれる通信販売業については、大手企業が幕張新都心地区に立地しているという強みを活かし、その集積を誘導するための施策を検討します。

○将来の企業進出ニーズへの対応

現在分譲中の工業団地の空き情報の把握を行いつつ、将来の産業用地のニーズに備えるため、市内における産業集積の適地を調査します。また、企業との包括協定等を推進し、企業等が持つネットワークを利用した企業動向・不動産情報の収集を行います。

○国内外の企業誘致の推進と環境づくり

企業数の増大による「税収の確保」「雇用の創出」「市内企業の事業機会の拡大」をさらに推進するため、中規模本社立地や市内雇用を促進する企業立地補助制度を拡充します。

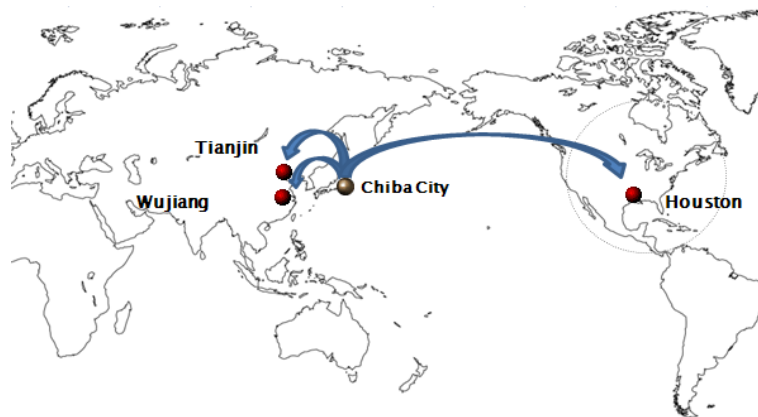
また、姉妹・友好都市提携を最大限活用し、同都市に拠点を置く企業に対し、千葉市の操業環境の優位性や国内の法制等の情報提供を積極的に行い、国外からの市内への企業立地支援を拡充させるなど、日本進出拠点としての本市への企業誘致を積極的に実施します。

特に、今後の成長が見込まれ、高齢者比率の高まりという本市の課題に有効な、健康サービス・予防医療などヘルスケア産業への誘致活動を行います。更に外国企業が立地し、事業活動を円滑に行えるよう、住居・教育等の環境づくりを推進します。

○海外市場の開拓支援

市内企業の生産効率の向上や販路拡大を支援するため、姉妹・友好都市を始めとする国際経済交流において、海外への販路拡大と技術研鑽の機会を創出します。

また、姉妹・友好都市等で開催される展示会への参加を支援します。



○知的財産※の保護・活用の促進

海外進出を検討している企業への外国での知的財産※の保護状況等の情報発信を行います。また、海外展開する企業に対する特許申請支援など知的財産※の保護や活用について支援強化を行っていきます。

○海外進出を狙った人材確保

相手国の経済情勢や商圈特性、規制などの法令関係は、海外取引や現地進出など事業活動の上で必須であるため、海外で通用するスキルを取得するための支援を行うほか、留学生など文化・言語や環境に精通した人材を確保する機会を創出していきます。

○海外進出への意欲の喚起

市内の事業者に対して、海外進出が自社にとって利益となるか適切な経営判断を行えるよう、海外展開のメリット、デメリットや海外に進出を決断するタイミングなどに関する情報提供を行います。

戦略Ⅱ 経営革新と産業人材の育成

地域経済の牽引役である市内中小企業の活力を高めるため、本市産業振興の中核施設である千葉市ビジネス支援センター※による事業者ニーズに応じた的確な支援を行います。

特に、千葉市ビジネス支援センター※と千葉大亥鼻イノベーションプラザ※や千葉大学サイエンスパークセンター※との連携を強化し、大学と中小企業の共同研究を促進します。

また、国内外の環境変化に起因する金融危機等による事業環境の変化に対しては、融資制度による資金繰りの円滑化など経営安定を図るとともに、国県等の制度と連携し、経営革新を促す特色ある制度づくりを行っていきます。

戦略Ⅱ-1 成長を促す経営革新への支援強化

地域の特性や強みを活かし、産業の活性化を図るため、企業間や大学などとの産学官連携を促進し、高度な技術や知識と産業の融合を図り、国際競争力のある中小企業を創出します。

また、消費者ニーズに対応したより質の高い事業へ転換するための機動力と企画力が必要となることから、各種支援策のコーディネート機能を強化し、経営革新を効果的かつ効率的にサポートします。

○異分野・異業種交流の機会

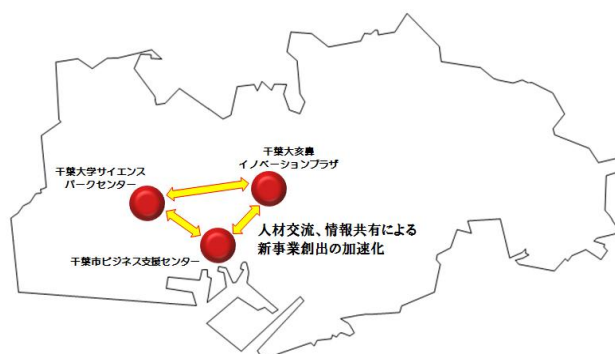
多様な分野、業種間の交流によるイノベーション※を創造するため、農商工連携※をはじめとしたビジネスマッチングや異業種との連携の機会を創出します。

○地域に根差したミニコンソーシアム※の形成

関連企業、地域、大学、金融機関等へのニーズ調査を実施し、その結果に基づいた分野の研究会を設置し、組織化及び研究開発について、千葉市産業振興財団が主体となり支援を行います。

○産学官連携の促進

市内企業の技術力の向上、競争力の強化を図るため、大学をはじめとする研究機関との連携を促進し、また、企業側の研究開発ニーズを把握し学術分野への橋渡しを支援することで、学術分野の研究成果を産業分野で積極的に活用できる環境づくりを行います。



○新商品・新サービスの開発、販路開拓支援

時代の変化に対応した商品・サービスを生み出す企画力、機動力、チャレンジ精神を育てるため、各種支援メニューを効果的・効率的に利用出来るよう、千葉市産業振興財団のコーディネート機能を強化します。

また、販路開拓の一環として商品の魅力を高めるデザイン力の向上に向けた支援を行うとともに、中小企業者・商店等における新商品開発時の広報支援を行います。

○資金調達支援

企業の積極的な事業展開を資金面から支えるため、中小企業向け資金融資制度を充実させるとともに、民間ファンドを活用するための情報提供やマッチングを行います。また、国等が実施する補助金の獲得支援などを図ります。

戦略Ⅱ－２ 経営安定支援の強化

東日本大震災※の影響でサプライチェーン※が寸断され、仕入停止等により事業の継続が困難となる状況を多くの企業が経験しました。一方、大震災が経済に与えた影響は根深く、厳しい状況が長期化するのではないかと予測されています。

このような状況下で、中小企業の経営基盤強化は喫緊の課題であり、安定した経営の確立を図るため、相談体制の強化を行うとともに、資金繰り支援、事業再生支援等を実施します。

○経営の安定化に向けた資金調達支援

地域産業の安定経営を図るため、各事業者の自助努力が十分に活かせるよう、千葉市ビジネス支援センター※の相談窓口などのサポートを強化するとともに、中小企業向け資金融資制度などによる支援を行います。

○事業再生支援

事業の将来性はあるものの、財務上の問題を抱えている中小企業の再生を専門機関と連携し支援します。また、災害時の事業継続を確実にするため、必要な対応策を定めた緊急時企業存続計画または事業継続計画（BCP※）の策定を支援します。

また、近年、経営者の高齢化が進行する一方で、後継者不在などで事業活動を継続できない企業が問題となっていることから、事業を他の企業に売却するなど、事業を円滑に引き継ぐための事業承継を支援します。

○従業員の福利厚生の充実

中小企業の従業員が安心して働くことのできる環境づくりを支援します。

○零細企業への経営支援

零細企業の経営安定化を図るため、商工会議所をはじめとする支援機関が実施する相談窓口や専門家派遣など支援策が円滑に行われるよう、中小企業支援センターである千葉市産業振興財団を中心に支援機関との連携強化を図ります。

戦略Ⅱ－３ 産業を牽引する人材育成

将来の千葉市の産業を牽引する人材を本市から輩出するとともに、市外から優秀な人材が集まるよう、起業家人材の育成に努めます。市内における科学・技術に関する研究活動が活発化するよう環境づくりに努めるとともに、指導力のある人材の発掘に努めます。

○経営者のマネジメント能力の向上支援

産業を牽引する人材の育成を図るため、各種研修会や専門家派遣などを通して個々の事業者の経営者の感覚を磨き、マネジメント能力などのスキル向上を図ります。また、その礎となるマーケティング把握支援を行います。

○技術系人材の育成

技術者が自ら開発した製品等を営業できるよう、コミュニケーション能力向上の場を提供します。また、ものづくりの中核を担う人材を育成するために、工業高校などの実践的なものづくり教育の充実や技術伝承や若手技術者の育成を行います。

○高度化人材の育成

現役世代に対する技術力向上や産業構造の転換やグローバル化に対応できる高度人材の育成を図ります。

○次世代を担う起業家人材の育成

次世代を担う子ども達の起業家精神を喚起、涵養するため、経済・金融の仕組みを学ぶ場や社長と意見交換できる機会を創出するなど、アントレプレナーシップ教育※の受講機会を充実させます。

○若年者の職業観醸成

高校生、大学生が働くということをイメージできないまま社会に出るミスマッチを解消するため、インターンシップ※などにより職業観の醸成を図ります。

戦略Ⅲ 地域商業・サービス産業の振興

市民生活と密接な関係にある地域経済の活性化を目指し、県内最大の商圈を持つ強みを活かし、更なる商業活動の活性化を促進します。このため、社会情勢の変化への対応力を高め、消費者ニーズを的確に踏まえた、柔軟で質の高い企画を有する事業者を育成するとともに、コミュニティビジネス※の支援などを行います。

戦略Ⅲ－１ 地域商業の活性化

地域商業は、経済活力の維持・強化並びに市民生活の向上に重要な役割を果たしていますが、少子超高齢化の進展などの社会構造の変化に、大きく影響を受けています。地域の活力を維持していくためには、地域の事業者が、地域住民の需要に応じた取組みや商学連携※などの新たな取組みを推進したり、地域の玄関口となる中心市街地※の機能を強化することが求められます。このため、商店街を対象とした従来の支援ではなく、事業者の取組みを応援する、柔軟かつ重点的な支援を行っていきます。

○中心市街地※の商業機能の強化

中心市街地※の魅力向上させるため、建て替えが必要な商業ビル、空きテナント対策をはじめとする、消費地としての商業集積の強化策を検討します。

○繁盛店を目指す事業者への支援

繁盛店の存在は、地域商業の活性化への重要なポイントとなりつつあるため、繁盛店を目指す事業者が行う創意工夫した取組みに対する支援制度を拡充します。また、従来の支援制度についても、独自の取組みを行う事業者又は活性化に向けて志を同じくする事業者の連携に対する支援を強化します。

○県内観光地の見本市

全国から千葉県に訪れる観光客及び成田空港を利用する外国人観光客に対して、千葉市内に来ることにより房総の食材や観光情報を入手できるようにすることで、県内各観光地への拠点とします。

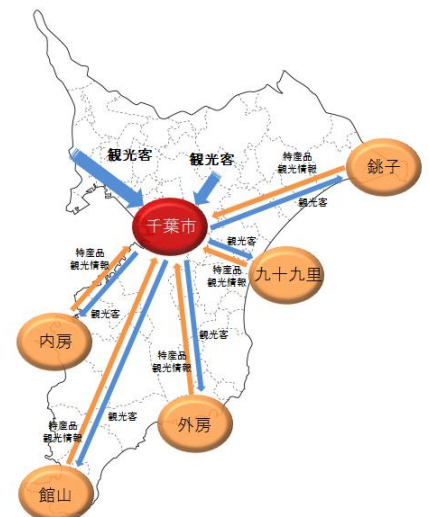
【県内観光地の見本市のイメージ】

千葉市は千葉県の中心部に位置し、都心直結の東関東自動車道、京葉道路、館山自動車道、東金道路等の高速道路体系、JR 総武線、総武本線、京葉線、内房線、外房線及び京成電鉄等の鉄道網が整備され、県内における交通網分岐の要衝であり、成田空港があることから、外国人観光客の玄関となっています。

全国から千葉県に訪れる観光客及び成田空港を利用する外国人観光客に対して、千葉市内に来ることにより房総の食材や観光情報を入手できるようにすることで、県内各観光地への拠点とします。

それぞれの観光地は、市内に特産品や観光情報を出すことで、観光客の誘致につなげることが出来ます。

本市としては、観光客が立ち寄ることで、賑わいが創出されます。

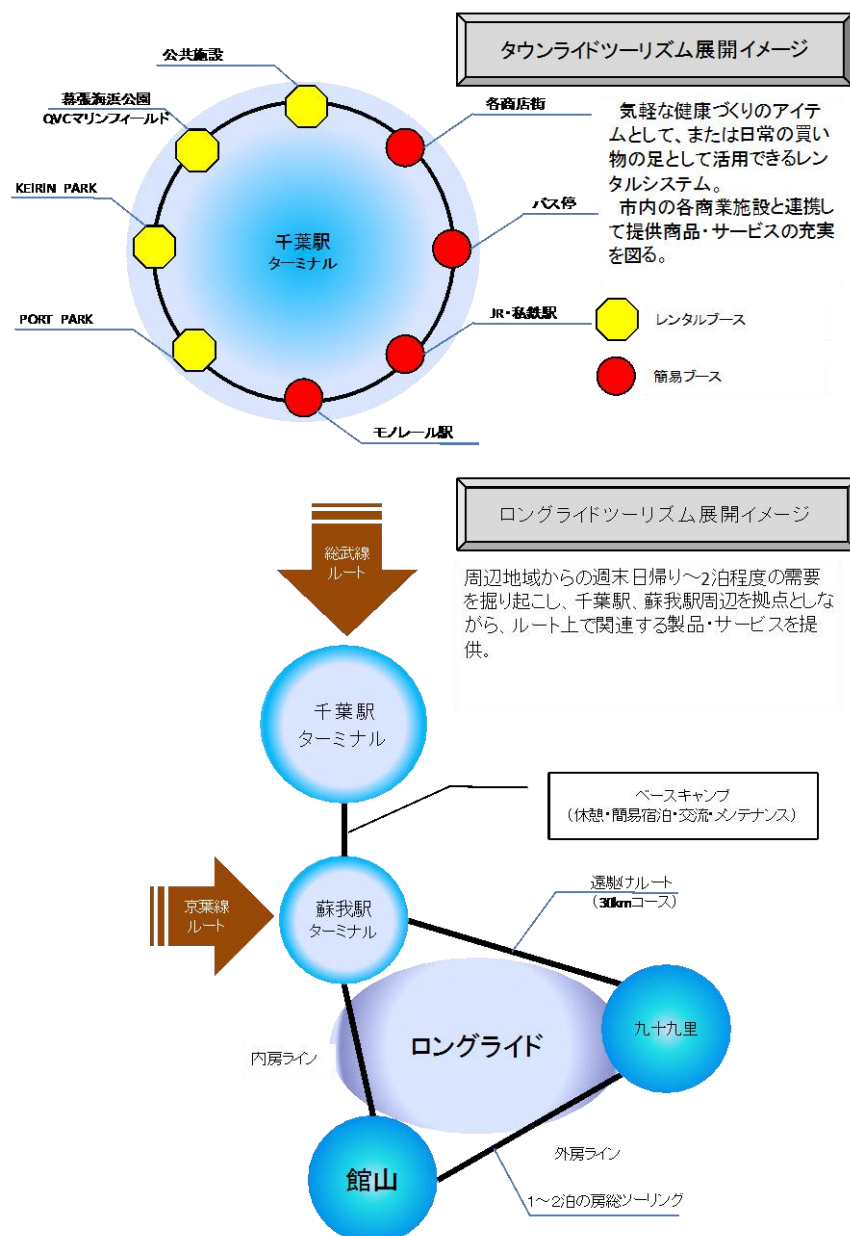


○観光と連携した商業活動への支援

市民の健康増進や観光客の呼び込みにつながるサイクルツーリズムや、医療ツーリズムなど市内の健康スポットや施設を活用した観光事業との連携を強化することで、商業者のビジネスチャンスを拡大します。特に、千葉市を訪れる観光客を対象にした商業活動や個店において各種観光イベント情報の提供を行う活動に対する支援を行います。

【サイクルツーリズムのイメージ】

東京から約1時間、港の海辺があり、稲毛の浜があり、土気駅から九十九里までは15km、さらにJRで勝浦や館山までも1.5時間というロケーションの良さを活かして、「心身のリフレッシュ」を求める日帰り観光客の誘致を図ることで、健康志向のレジャー・レクリエーション関連商品・サービスの振興が期待できます。



戦略Ⅲ－２ 定常型社会の公共をビジネスで支える

少子超高齢社会※の到来に伴う定常型社会※への移行はビジネスの環境にも大きな影響を与えます。特に地域の課題、新しい公共に対しては地域住民、学生、商業者などがビジネスの主体として活動することが期待されることから、これらの主体が積極的にビジネスに参入できるよう環境を整えます。

○市内企業・大学との連携強化

企業・大学等との包括協定等を推進し、それぞれの持つ資源を有効に活用し、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応し、協働による地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ります。

○企業のCSR活動の支援及び連携の促進

企業のCSR（社会的責任）活動については、企業が市民（消費者）に認知され、持続的に発展するための重要な要素であり、地域としても課題解決の手段としての期待が高まっていることから、これらの活動の支援を行うとともに、連携を促進します。

○社会貢献型の商業活動に対する支援強化

物の消費が一段落した定常化・高齢化社会においては、商業機能に対する育児、教育、介護予防等へのサービス提供の期待が高いことから、市民にとって最も身近な地域の商業者に対するソーシャルビジネス※の導入やコミュニティビジネス※の活動に対する支援を強化します。

○コミュニティビジネス※の普及・促進の強化

地域が抱える課題を市民が主体になって、地域資源を活かしながらビジネス的手法により解決する取組みは、団塊世代や超就職氷河期に直面する学生など、その担い手が多様化しており、起業化講座やネットワーク構築の支援、関係機関との連携の促進、継続性を重視したコミュニティビジネス※・モデルプランを紹介するなど、更なる普及・促進に努めます。

■体系図■

千葉市地域経済活性化戦略

「企業が成長し、新たな企業が集い、起業家精神にあふれる人材が育つ千葉市の実現」

基本戦略 経済環境の変化に柔軟に対応できる産業界の企画力とチャレンジ精神を支援

基本戦略Ⅰ 新事業・新産業の創出

Ⅰ-1 起業家育成、新事業の創出

- 市内の産業支援機関との連携強化
- 創業セミナー開催
- インキュベート施設の機能拡充
- 若手起業家への創業支援の強化
- 起業支援ネットワークの構築
- 優秀なビジネスプランの誘引
- 新事業創出に向けた資金調達支援
- 有望なベンチャー企業の販路開拓支援

Ⅰ-2 企業誘致と国際競争力の強化

- 国内外の企業誘致の推進と環境づくり
- 海外市場の開拓支援
- 将来の企業進出ニーズへの対応
- 知的財産の保護・活用の促進
- 海外進出を狙った人材確保
- 海外進出への意欲の喚起

基本戦略Ⅱ 経営革新と産業人材の育成

Ⅱ-1 成長を促す経営革新への支援強化

- 異分野・異業種交流の機会
- 地域に根差したミニコンソーシアムの形成
- 産学官連携の促進
- 新商品・新サービスの開発、販路開拓支援
- 資金調達支援

Ⅱ-2 経営安定支援の強化

- 経営の安定化に向けた資金調達支援、
- 事業再生支援、
- 従業員の福利厚生の充実
- 零細企業への経営支援

Ⅱ-3 産業を牽引する人材育成

- 経営者のマネジメント能力の向上支援
- 技術系人材の育成
- 高度化人材の育成
- 次世代を担う起業家人材の育成
- 若年者の職業観醸成

基本戦略Ⅲ 地域商業・サービス産業の振興

Ⅲ-1 地域商業の活性化

- 中心市街地の商業機能の強化
- 繁盛店を目指す商業者への支援
- 県内観光地の見本市
- 観光と連携した商業活動への支援

Ⅲ-2 定常型社会の公共をビジネスで支える

- 市内企業・大学との連携強化
- 企業のCSR活動の支援及び連携の促進
- 社会貢献型の商業活動に対する支援強化
- コミュニティビジネスの普及・促進の強化

